

森林組合だより

森の声

平成28年  
(2016年)

7月15日  
No.117

編集、発行：☎012-0055 秋田県湯沢市山田字福島開372番地5 雄勝広域森林組合  
TEL 0183-72-1197 FAX 0183-72-1199 E-mail:sinrin@ogachimori.com

暑中お見舞申し上げます

佐藤重芳組合長再任(五期目)

長谷山利宏 副組合長  
富谷 公治 代表監事 は新任



富谷 公治  
代表監事  
(湯沢市大町)



佐藤 重芳  
代表理事組合長  
(湯沢市稲庭町)



長谷山 利宏  
代表理事副組合長  
(羽後町田代)

就任年月日：平成28年7月1日  
任期満了年月日：平成31年6月30日

理事



佐々木伊左工門  
(湯沢市関口)



土田政泰  
(羽後町弘体)



高橋 健  
(東成瀬村椿川)



柴田貞一郎  
(羽後町西馬音内)



富田 富男  
(東成瀬村岩井川)



菅 忠一郎  
(湯沢市相川)



藤原 洋一  
(羽後町下仙道)



宮原 隆  
(湯沢市石塚)



新 高橋 均  
(湯沢市皆瀬)



新 石川 義弘  
(湯沢市桑崎)



新 竹内 慶一  
(湯沢市上院内)



高橋 喜一郎  
(湯沢市皆瀬)

勇退された方々

代表理事 (横手市雄物川町大沢)	理事 渡邊 慶一郎 (湯沢市皆瀬)	理事 兼 佐野修蔵 (横手市平鹿町樽見内)	代表理事副組合長 高橋 忠廣 (湯沢市泉沢)
---------------------	-------------------------	-----------------------------	------------------------------

長い間ご苦労様でした



佐藤 義彦  
(羽後町西馬音内)



高橋 忠雄  
(湯沢市川連町)

監事



新 武藤 吉克  
(横手市平鹿町樽見内)

# 第二十回通常総代会全議案可決

六月十日、第二十回通常総代会が一六三名の出席（委任出席を含む）のもと開催されました。

組合長挨拶（後に全文掲載）、来賓を代表して森田雄勝地域振興局農林部長と安藤羽後町長より祝辞を頂きました。

続いて、議長に雄勝地区菅英夫氏を選任して議事に入り、全議案満場一致で可決されました。

また、質疑は身近なことから森林認証まで多岐に及びました。尚、可決された議案は次のとおりです。

- 議案第一号 平成二七年度業務報告書承認について
- 議案第二号 平成二八年度事業計画書設定について
- 議案第三号 賦課金の賦課及び徴収方法について
- 議案第四号 本年度内における借入金の最高限度について
- 議案第五号 本年度内における組合員及び組合員以外の者に対する貸付金の最高限度について



満場一致により可決

- 議案第六号 本年度内における貸付金利息の最高限度について
- 議案第七号 本年度内における債務保証の最高限度について
- 議案第八号 役員報酬について
- 議案第九号 余剰金の預け入れ先について
- 議案第十号 役員退任慰労金の支給について
- 付帯決議 年度内途中で事業計画の一部については、軽微な変更を要するに至った時は、理事会で計画を変更できることを承認する。

## 組合長挨拶



組合長あいさつ

本日第20回雄勝広域森林組合総代会を開催しましたところ、皆さん大変お忙しい中をご出席いただきありがとうございます。また、本日は雄勝地域振興局農林部長の森田様、羽後町長の安藤様はじめ当組合として常日頃から大変お世話になっている方々に多数ご臨席いただき心から感謝申し上げますとともに今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

まず始めに私事での報告をさせていただきますが、私は平成24年に全国森林組合連合会の会長に就任させていただきました。秋田県からの会長は初めてということ

その思いを受け止めながら自分として日々全力で頑張ってきたところです。そして昨年、当組合の総代会が終わった後の6月18日に全国森林組合連合会の総会がありその席上理事に再選され、当日行われた理事の互選によりまた会長に再任させていただきました。森林組合を巡る情勢は、だいぶ明るさが見えてきたもの。ただまだ課題は山積しています。そのような中で国土保全という大変重大な使命を持っている森林の健全な維持や林業発展のために心を新たに努めているところです。森林組合は全国で約630組合をちよつと切りました。その組合員約160万人のトップとして、日々全力で取り組んでいるところですので、どうぞ地元の総代の皆様にも支えになって頂きますようよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の経済ですが、平成27年度は個人消費・民間投資活動について、ちよつと遅れが出てきているといわれていましたが、国のその後のいろいろな施策により緩やかな回復基調であると云われているところです。平成28年度においても、国の一億総活躍社会



森田雄勝地域振興局農林部長

の実現に向けて緊急に実施する対策にいろいろなことが示されていますが、これを実現していくことにより経済の好循環が期待されるということ、森林組合としてもこれにしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。今、一極集中、過疎、過密の社会問題についてはあまりにも根が深く一朝一夕に解決するのは至難の業であると思っていますが、長い目で見てこれを解決する一つのキーワードが山と林業の復活であると思っています。このことについては、自分の立場としてしっかりと中央において発言しており、大臣方とも時々お会いしてお話ししているところです。

昨年12月にフランスのパリで地球温暖化を議論する国際会議コッペンハーゲンが開催されました。そこで、京都議定書以来18年ぶりとなるパリ協定が合意され、我が国では、2030年までに2013年対比で26%の二酸化炭素等の温室効果ガスを削減するという国際公約であり、これを成し遂げなければならぬと云うことであります。これを確実に実施する為には排出に対するいろいろな対策が必要であり、難しいことではありますが、それとは別に吸収源として、森林が吸収するように森林整備をすることが重要になってきます。52万haの森林整備を毎年続けていかなければならないことなのでその財源確保等に森林組合に対する期待はどんどん大きくなってきているところ、思っているところです。

秋田県におきましては、昨年開校した林業大学が順調に推移しているところであり今年度は去る4月8日に入校式を行い18名が入学しました。今年もサポーターチームの会長として応援していきまします。来年の秋田の森林を担っていく若い優秀な人材が着々と育っているところ、また、県では主伐

再造林を一体的に進める秋田スギ循環利用促進モデル事業やいろいろな林業施策に取り組んでおり、我々としても期待しています。そして県議会では木材を優先的に活用しようというウッドファースト秋田の実現に向けての木材利用促進条例を全会一致で可決しました。これも我々にとっては応援になることでありますので、それにしっかりと応えなければならないと思っています。



安藤羽後町長

また、木材価格は低迷しており、厳しさは変わりませんが、国県等での施策がでてきましたので明るさは漂ってきたと思っています。私自身目指すところは所有者が山からの所得が得られることです。

でこれからも頑張っていきたいところです。



高橋前副組合長の閉会と退任の挨拶

当雄勝広域森林組合としましては平成27年度も積極的に事業に取り組んで来ました結果として事業総収益7億7千7百万円、事業総利益1億9千5百万円で当期純利益4百万円を計上できました。これも組合員の皆様や関係機関の皆様のおかげと思っています。ありがとうございます。28年度は始まっていますけれども、組合員の皆様の負託に応えなければならぬと思っていますので総代の皆様にもよろしくお願い申し上げます。今日の議事につきましては建設的な意見を出していただきながら全議案原案どおり決定頂きますようお願いいたします。

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在  
単位：千円

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	510,790	流動負債	316,416
有形固定資産	157,772	固定負債	150,995
無形固定資産	23,785	負債合計	467,411
外部出資	29,990	資本の部	
その他の固定資産	790	出資金	109,057
繰延資産	0	剰余金	146,659
		資本合計	255,716
資産合計	723,127	負債・資本合計	723,127

## 損益計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで 単位：千円

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1 収 益	776,668	
2 費 用	581,861	
事業総利益		194,807
II 事業管理費		192,719
事業利益		2,088
III 事業外損益		
1 事業外収益	6,620	
2 事業外費用	5,007	
事業外損益		1,613
経常利益		3,701
IV 特別損益		
1 特別利益	2,053	
2 特別損失	1,620	
特別損益		433
税引前当期純利益		4,134
法人・住民及び事業税額		140
当期純利益		3,994
前期繰越剰余金		8,342
当期末処分剰余金		12,336

## 平成27年度剰余金処分

単位：千円

摘 要	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金	当期剰余金 繰越剰余金	3,994 8,342	12,336
II 剰余金処分額		800	
1. 法定準備金			
2. 任意積立金			
(1)損失補填積立金		3,000	3,800
III 次期繰越剰余金			8,536

## 平成28年度事業計画

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日

部 門	収 益	費 用	損 益
指 導	9,463 千円	6,468 千円	2,995 千円
販 売	333,802	271,272	62,530
加 工	53,875	48,507	5,368
森林整備	349,525	235,811	113,714
計	746,665	562,058	184,607

木材市況

秋田木材流通センター入札結果

◆開催日  
平成28年 7月 5日  
m<sup>3</sup>あたり

3.65m (12尺)	高 値	安 値	平 均
13cm 下	7,000円	5,399円	6,947円
14~22	8,299円	7,799円	7,994円
24~28	10,829円	10,579円	10,793円

●概況 高齢樹は材質次第の取引となったが、中玉Bは依然応札がなく不振。  
一般材についても弱含みの展開となり、応札のない物件も多く出るなど、総じて不振。  
買い方の仕入れ意欲も薄く、45%と低調に終わる。

平成28年 6月 当森林組合販売平均単価

杉丸太	2m		3.65m		4m	
	円/m <sup>3</sup>	円/石	円/m <sup>3</sup>	円/石	円/m <sup>3</sup>	円/石
13cm下	5,400	1,500	5,400	1,500	5,400	1,500
14~22	7,593	2,109	10,440	2,900	9,506	2,641
24~28	8,640	2,400	11,160	3,100	10,099	2,805



第34回 桐共販市開催

入札時の最高価格を更新

テレビ等で報道されておりますが、6月29日(水)第34回桐原木共販市が開催されました。今回は、全国より21名の業者が品定めし、入札をしていました。

近年、春に桐の花を見かけることが少なくなっている中、出品量の減少が心配されましたが、多くの方々のご協力により昨年を上回る出品量を確保出来ました。

家の周辺に桐をお持ちの方がおりましたら、“思わぬ”値段がつく可能性がありますので、是非ご検討下さい。



最高単価の桐材(横手市雄物川町大沢産)

第34回桐共販市入札結果

	件数・材積・金額
出品材積	209.664m <sup>3</sup>
出品本数	2,234本
売上材積	149.627m <sup>3</sup>
売上本数	1,609本
平均単価	1m <sup>3</sup> 当たり 64,230円
最高単価	1m <sup>3</sup> 当たり398,901円



暑中お見舞い申し上げます。  
さて、総代会が終了し事実上、二八年度がスタートしました。  
また、役員改選も行われ新体制となりました。一方、四人の方が勇退されました。いずれも長年重責を担っていただだけに一抹の寂しさがあります。  
今後も健康でおられるように願っております。  
(A・T)

賦課金の口座振替の皆様へ

7月26日(火)に指定口座より引落します。お申し込み済み方は、残高の確認をお願いします。

対象は、JAこまち、うご、秋田ふるさと及びゆうちょ銀行です。

編  
集  
後  
記